



部署や店舗を超えて行員同士の仲が良く、些細なことでも話ができるオープンな職場環境が「とりぎん」の特徴。採用担当一同、皆さんと出会えるのを心待ちにしている

「青い鳥の銀行です」のキャッチフレーズで親しまれる「鳥取銀行」。大正時代に前身の「株式会社鳥取貯蓄銀行」として創業して以来、100年にわたり地域に根差し、地元経済を支えてきた。銀行の業務という、預金・融資・為替のイメージが強い。しかし、同行の人事部副部長の日野正司さんは「近年は、地域密着の強みを生かした地元企業のコンサルティングなど、業務の幅は広

**地元志向+未来志向で  
地域に新たな価値を**

がっています」と新しい地方銀行の形について語る。  
人口減少や少子高齢化が進む鳥取県で、同行が目指す姿は、「地域社会の発展を力強くリードするコンサルティングバンク」だ。2024年スタートの中期経営計画「For the FUTURE」で、未来に向けて「新たな地域価値の創造」「コンサルティング深化」「経営基盤の強化」「人的資本経営の実践」の4つの重点テーマを掲げ、地域社会の未来を「創る」「守る」「支える」存在となる人材育成に力を入

れる。

テーマの一つ、人的資本経営とは、

社員を企業の「資本」と捉え、能力や経験、意欲を高めるための投資を行い、中長期的な企業価値向上へとつなげる経営手法だ。人材育成はその重要な柱。同行の取り組みでは、新入行員の厚い育成期間があげられる。入行後2年間の「ジョブローテーション」に加え、先輩行員が新入行員の精神面を支える「メンター制度」と専門的な業務を教える「エルダー制度」は、その後のキャリアパスを描く上でも重要な役割を果たしている。「この制度のおかげで業務や職場にスムーズに慣れることができ、離職者も減少しています。組織全体で若手を育成し、地域社会の発展に貢献していきたい」と手応えは確かだ。この他にも、階層別・分野別の研修強化、自律学習を支援するシステムの導入、男性の育児休業取得の支援など多様な働き方の推進、女性管理職比率の向上など、人的資本を高めるための取り組みが柔軟に行われている。

「求めるのは、持続可能な地域づくりに挑む強い志を持った方。一緒に新たな地域価値を創造しましょう」と呼びかける。地域にコミットする地方銀行にしかできない挑戦が「とりぎん」で待っている。



とっとりぎんこう  
株式会社 鳥取銀行

地域の未来を創り、守り、支える  
コンサルティングバンク

43  
LEADING COMPANY



**新入行員の成長を支援する  
メンター・エルダー制度**

新入行員から「心強い」と好評なのが、入行1年目の行員を支援するメンター・エルダー制度。メンターは、立場や年齢が近い先輩行員が仕事の悩みや人間関係などの精神面をサポートし、エルダーは業務を教える教育係だ。さらに支店長も定期的な面談を行い、業務の習得具合や自己評価をヒアリングする。この取り組みで定着率も飛躍的に向上した。



**仲間との親睦も深まる  
充実の研修プログラム**

入行後、最初に待っているのが3週間の新入行員研修だ。最初の1週間は合宿スタイルで寝食を共にして仲を深めるとともに、社会人や行員としての基本を学ぶ。その後、配属先が分かれてからも多彩な研修で顔を合わせ、1年目は森林セラピーなどのプログラムも用意。また、2年目以降も階層別・業務別の研修が充実し、順調なレベルアップを図れる。



**ジョブローテーションで  
早期の業務習得を目指す**

新入行員たちの配属が決まると、ジョブローテーションがスタート。2年間かけてさまざまな銀行業務を計画的に習得する。この期間に基本となる業務を幅広く理解し、そして3年目に行うのがキャリア申告だ。行員がそれぞれの強みや適性を生かしたキャリア形成の希望を伝え、その後は各専門分野のプロフェッショナルを目指して成長していく。





株式会社 鳥取銀行

事業内容

普通銀行(預金、融資、為替、証券、国際業務など)

創業 昭和24(1949)年10月1日

代表者 代表取締役 入江 到

社員数 871名(男403名 女468名)

本社 鳥取県鳥取市永楽温泉町171

電話 0857-22-8181

採用エリア(勤務地)

鳥取市、倉吉市、米子市、境港市、安来市、松江市、出雲市、東京都、大阪府、広島県、岡山県

採用区分

新卒採用

キャリア採用

採用担当者からあなたへ

“とりぎん”では研修制度が整っており、何事にも挑戦できる環境です。地域を元気にしたい熱い想いをお持ちの方と一緒に働けるのを楽しみにしています!



人事部 人材開発室 田中 絵梨花さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0857-37-0250

採用直通 E-mail

t\_jinji@tottoribank.co.jp

公式サイトはこちら



求人サイトはこちら



動画サイトはこちら



メガバンクへの出向で成長! 人にも仕事にも恵まれています

生まれも育ちも東京ですが、地方で働きたいという思いを強く持っていました。鳥取は母の故郷。子どもの頃から馴染みがあり、空気や水が綺麗で、時間の流れ方が自分に合っていると感じて鳥取銀行に入りました。現在働く《ストラクチャード営業室》は入行3年目に配属された部署で、主に全国の太陽光発電や風力発電などのプロジェクトに対する融資を行っています。2023年から1年間は、《みずほ銀行》のプロジェクトファイナンス営業部に出向し、メガバンクのノウハウを勉強させてもらいました。出向先の部署には130人もいて、他の銀行からも出向されている方もいましたが、出向者も同行の行員と同じ扱いをしていただけたことに感謝しています。この時に一緒に働いた全国の友人とは、今も情報交換をする仲です。

東京から一人で1ターンしてきて、周りの方に気にかけていただき人に恵まれました。同期や職場の方とはプライベートでも仲が良く、若手行員が立ち上げたまちおこしサークル《Tri-ppo(トリッポ)》にも参加。地域の祭りやイベントに出店し、地域活性化につながる活動に取り組んでいます。



地域戦略部 ストラクチャード営業室 田畑 英野さん 2018年入行



法人コンサルティング部 前川 円香さん 2017年入行



地域戦略部 地方創生グループ 田中 周さん 2009年入行

県外から1ターン転職 人間関係の良さを実感

大学卒業後、金融系の会社に6年勤務しましたが、数年ごとに全国転勤があったため、将来について妻とも相談した結果、彼女の地元であり私も大学時代を過ごした鳥取県に移住しました。鳥取銀行は地域密着型金融を実践し、また、副業などの多様な働き方を認めている「アグレッシブな地方銀行」という印象があり、ここで前職の金融知識を生かせればと2023年4月にキャリア採用で入行。現在は本店営業部で法人向け融資を担当しています。金融知識があるとはいえ、銀行業務ではわからないことも多いのですが、職場のフォローが手厚く、また、研修が充実しているので積極的に学べる環境が整っています。

当行は行員数が約600人と銀行としては小規模ですが、おかげで役員クラスとも距離が近いです。職場の人間関係も良好で働きやすく、人数が少ないことが良い方向に働いていると感じます。また、挑戦を後押ししてくれる職場でもあり、今後は「金融すごろく」など親しみやすいコンテンツを用いて、営業部の皆さんとともに金融リテラシー教育にも取り組んでいきたいです。



本店営業部 融資課 辻 凌大さん 2023年入行



IT統括部 博田 葵和菜さん 2020年入行



企画開発部 脱炭素推進グループ 田中 佑樹さん 2013年入行

【法人コンサル】 経営に役立つ支援を提案

法人コンサルティング部は、法人のお客さまが抱えているさまざまな経営課題に対して専門的なサポートを行う部署。その中で、事業者の新たなビジネスチャンスをサポートする販路開拓支援やビジネスマッチング、業務改善や生産性向上実現のためのICTコンサルティングを担当しています。目標とする上司のように、相手の意向に沿いながら、物事を論理的に整理し、提案につなげられるようになりたいです。

【地方創生】 地域での出会いが視野を広げる

地方公共団体とともに行う地方創生や、地域課題をビジネスで解決する業務に現在取り組んでいます。自分の意識を変えるターニングポイントになったのが、まちづくり会社への出向でした。地域の中でさまざまな人と出会い、事業者の方と近い目線で関係を築いて意識を共有し、視野が広がったと感じます。銀行員とは言っても働き方は一つではありません。個人の価値観に沿った働き方を選択できる銀行です。

【システム】 社内公募に挑戦しIT分野へ!

文系学部の出身ですが、IT人材の社内公募に挑戦してみたいと手をあげたところ、その意欲が伝わり《IT統括部》へ。現在は、銀行内で使用するシステムの内製化に向けて、外部ベンダーとの共同開発や、当行と外部の金融システムなどを接続する外接システム業務に従事しています。技術や知識の勉強はまだ必要ですが、想定通りに自作したシステムが動いた時などにやりがいを感じます。

【脱炭素】 銀行の強み生かしSDGs推進

日本政府は2050年のカーボンニュートラルを宣言し、CO2削減のさまざまな政策が動きだしています。当行では2022年に《脱炭素推進グループ》を設置し、地域やお取引先の脱炭素化を支援。地方の中小企業は、マンパワーやノウハウが不足する中、銀行のネットワークを生かしてお客さまの悩み解決に取り組んでいます。一方で、脱炭素は中長期的な視野が必要であり、地域や企業への啓発普及の大切さを感じています。

多彩に活躍する“とりぎん”の人財たち



鳥取駅南支店 加賀田 美紗貴さん 2011年入行

【法人営業】 企業の課題解決に向け伴走支援

鳥取出身で関西の大学へ進学し、就職活動を通じて鳥取の人のつながりや温かさに改めて魅力を感じました。地元を元気にして若い人が働く場所を増やしたいと入社し、現在は法人のお客さまの事業資金のご相談や、課題解決に向けた伴走支援などに取り組んでいます。企業の数だけ課題があり、醍醐味と同時に難しさも感じますが、お客さまから「加賀田さんだからお願いした」と声をかけていただけるよう日々心がけています。



本店営業部 営業推進課 勢川 知之さん 2022年入行

【個人営業】 お客さまの将来をともに歩みたい

個人渉外を担当し、個人のお客さまの投資信託や保険といった金融商品販売、ライフプランのご提案など、お客さまの将来をともに考えた資産運用のお手伝いをしています。仕事では「近道の先は行き止まり」という上司の言葉を胸に、自分自身で試行錯誤を重ねて経験を積むことを意識しています。お客さまからの「勢川さんで良かった」「一歩踏み出せた」という言葉をやりがいに、お客さまの人生をともに歩んでいきたいです。



鳥取駅南支店 阿部 穂乃果さん 2023年入行

【窓口】 お客さまに笑顔を届ける接客を

鳥取銀行は、私が初めて口座を作った銀行。今は私が窓口立ち、口座の入出金、両替、諸届の受付、ATMのご案内などを行っています。研修でも学んだことですが、私の印象が銀行全体の印象にもなりかねないので、社会人としての自覚を持ったふるまいを意識しています。また、接客中は常に笑顔でいることを心がけています。お客さまから「良い笑顔だね」と声をかけていただけることが励みになっています。



鳥取西支店 中田 怜於さん 2021年入行

【融資】 地域やお客さまを第一に考える

就活中に、当行のインターンシップに参加し、先輩行員の雰囲気の良いが入行の決め手になりました。現在の支店では、事業性の融資と住宅ローンが主の融資業務を担当しています。「地域のため、お客さまのために働いて、それが銀行のためになれば良いよね」という上司の言葉が胸に残っています。お客さまにとってのより良い選択を考え、それがお客さまや職場の人に喜んでもらえることにやりがいを感じています。